

## 「宮古市のまちづくりを考えるパネル展」の実施概要

### 1. パネル展概要

パネル展の概要を下表に示す。

表 パネル展概要

項目	内容
タイトル	宮古市のまちづくりを考えるパネル展 ～立地適正化計画の策定に向けて～
会場・期間	市民交流センター1階 まちの情報プラザ 令和5年8月7日(月)～8月31日(木) うみマチひろば1階 交流ホール 令和5年8月21日(月)～8月23日(水)
展示内容	○計画を策定するうえで踏まえるべき宮古市の特性 ○宮古市の現状と課題 ○まちづくり方針・誘導方針 ○目指すべき都市の骨格構造 ○策定スケジュール
来場者数	延べ 277 人 (実際に足を止めてパネルをご覧になった方のみをカウント)
来場者アンケート	調査方法：備え付けの調査票及び Web による回収 回収数：18 票

《会場の様子》

市民交流センター



うみマチひろば



## 2. アンケート結果

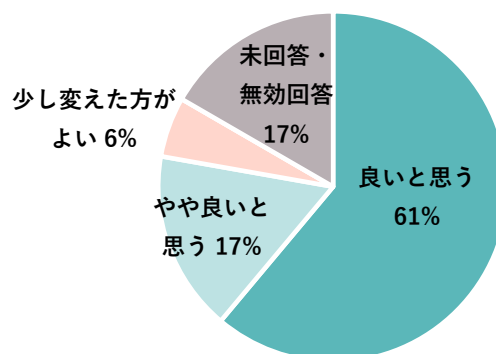
### (1) パネル展の意見・感想について

#### 1. 「まちづくり方針」(パネル8ページ)の評価

○「まちづくり方針」については、「良いと思う」が約6割、「やや良いと思う」が約2割となっており、概ね良い評価となっている。

#### 《評価の集計》

No	項目	回答数	構成比
1	良いと思う	11	61%
2	やや良いと思う	3	17%
3	少し変えた方がよい	1	6%
4	変えた方がよい	0	0%
	未回答・無効回答	3	17%
	有効回答	15	83%
	計	18	100%



#### 《評価の理由》

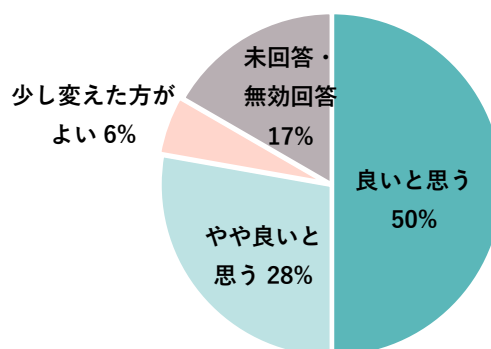
評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見・ご感想 (原文のまま引用)
良いと思う	7ページまでで整理された、宮古市が抱えている課題を踏まえた方針の決め方であったため。
やや良いと思う	若年層だけでなく、多様な世代の住民が活躍し易い街づくりを目指して欲しい。
良いと思う	しっかり考えられていていいと思います。
良いと思う	恵まれた自然環境を生かした方針には共感できる。現状抱える課題を解決するのは極めて難しいと思われます。今後の具体的な取り組み方(短期・長期での在り方)が大切となります。
良いと思う	中心部にもっと活気が欲しいから子育てがもっとしやすくなれば良い(遊び場が増えて欲しい)
未回答	後世に満足できる明るい未来を残すということでは、まちづくり方針示す所でありであると思います。今があって、未来がある。その歴史的な連続性や慣性力を考えますと、今まさにまちの経済を支えている、現在の働き盛り世代や高齢者世代の満足度も併せて高めていくことも、しっかりと明示すべきではないかと考えます。

## 2. 「誘導方針」(パネル8ページ)の評価

○「誘導方針」については、「良いと思う」が約5割、「やや良いと思う」が約3割となっており、概ね良い評価となっている。

### 《評価の集計》

No	項目	回答数	構成比
1	良いと思う	9	50%
2	やや良いと思う	5	28%
3	少し変えた方がよい	1	6%
4	変えた方がよい	0	0%
	未回答・無効回答	3	17%
	有効回答	15	83%
	計	18	100%



### 《評価の理由》

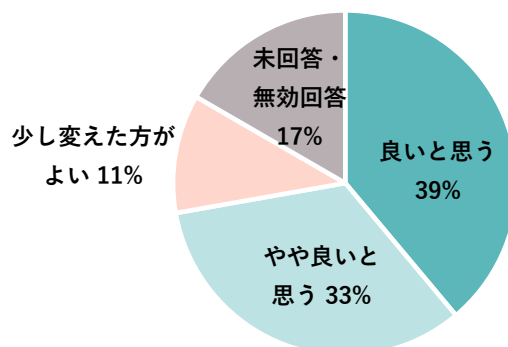
評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見・ご感想(原文のまま引用)
やや良いと思う	方針5についてまちづくり方針では若者を主なターゲットとするタイトルであると考えた。6ページでは宮古市における若者の転出を課題と捉えており、掲示されたデータによるとその課題解決には「学びの場」を確保することが重要であると考えられる。このアンケートは高校生が対象であるため「求められること」にある「学びの場」とはおそらく4年制大学であると考えられる。自分は4年制大学を新たに起こすことは難しいと考えるが、方針5の目標にある「学び」にはこういった機能を考えているのか期待したい。
やや良いと思う	既存の支所や出張所の統廃合や区域の線引きも念頭に入れていて欲しい。
良いと思う	目指すべきものがしっかりしている。
良いと思う	全国各地においても同様の取組例は多いと思われます。取り入れられることはものまねになっても良いから積極的に実施していくべきです。
未回答	「誘導される」結果として、どのようなメリット=便益が誘導される側の市民として得られるのかを明らかにすることで、市民の理解度が大きくなる。つまり「定数的」な表現に留めず、「定性的」な説明の両方を併せて行うことで共感が得られやすくなります。

### 3. 「目指すべき都市の骨格構造（イメージ）」（パネル9ページ）の評価

○「目指すべき都市の骨格構造（イメージ）」については、「良いと思う」が約4割、「やや良いと思う」が約3割となっており、概ね良い評価となっている。

#### 《評価の集計》

No	項目	回答数	構成比
1	良いと思う	7	39%
2	やや良いと思う	6	33%
3	少し変えた方がよい	2	11%
4	変えた方がよい	0	0%
	未回答・無効回答	3	17%
	有効回答	15	83%
	計	18	100%



#### 《評価の理由》

評価	評価の理由・変えたほうがよい理由・ご意見・ご感想（原文のまま引用）
良いと思う	公共交通機関に人を誘導できるのかが気になったが、コンパクトシティ化のイメージは伝わった。
やや良いと思う	それぞれのエリアにどの位の人口が、定住する事を考慮しているのかを、今後提示して欲しい。
良いと思う	はっきりしていて良いと思います。
やや良いと思う	医療において医師不足が懸念される中、営利目的の個人病院ばかり増えどうかと思う。地域の個人の医師（開業からの離脱）を取り込んだ市営病院を考えてほしい。
やや良いと思う	中心部以外にも、病院はいくつか作るべき。特に産婦人科・皮膚科が1軒しかない
未回答	政策的制度や都市構造の全体はそれぞれ歴史的な由来を持ち、また一種の慣性力によって存在し続けようとする。最終的にそこに向かわざるを得ない事情を担保として、決められたスパンの中で段階的的局面を形成、提示できないものではないでしょうか？
良いと思う	現状と課題がわかりやすくまとめられていてよくわかりました。方針についても理想、目標とするところは共感できました。問題は具体策・計画内容ですね（一番難しいところとは思いますが）

#### 4.その他のご意見

上記以外で今回のパネル展の内容についてのご意見・ご感想（原文のまま引用）
<ul style="list-style-type: none"><li>・うみどり公園付近で簡単にでも祭りをやるのはどうか。小さい子どもは歩くのには飽きてしまうと思うが、飽きたら大きな公園で遊べるし、人も集まり良いと思う。</li><li>・海沿いで行う祭りよりも駅前で行う祭りの方が個人的に良かったなと感じた。マックにも立ち寄れるし、近くにコンビニもあり屋台側もお店側も儲かるので良いと思う。</li><li>・バスの本数が少なく、学生が交通手段として使うのには難しい。本数が多ければ普段からバスを使おうと思うが少ないため、どうしても自家用車を選んでしまう。</li><li>・カフェのような空間がもっと欲しい。若者はどうしてもインスタ映えを気にしてしまうため、お洒落な店に入りたがりだ。そこで、カフェで働く人を集め、インスタ映えするものを提供する祭りを開催したり、フリースペースでお腹がすいた時に買える空間を使ったりすると良いと思った。(市役所のカフェのように)</li><li>・もっと海を活かしてなにかをしたい。安全面を考えなくてはならないが、海上アスレチックのようなものができたらみんな遊びに行くと思う。フリータイムにして入場料を少しでもとれば街の利益にもなり良いと思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・6 ページで提示されているデータの「高校生アンケート」とは一般に開示されていないアンケート集計結果でしょうか?対象の高校と集計人数を知りたいです。</li><li>・4 年制の大学を設置することが難しいのであれば、市には大学進学のために市外にでる意欲ある学生を応援していただきたいと考えます。これは全国の地域自治体が抱えるとても難しい問題ではありますが、ゆりかごから墓場まで宮古に「住むしかない」人間ではなく、外をみて体験して考えて、それでも宮古に住みたいという人間を増やすことを目標にまちづくりの方針を考えて始めていただきたいです。</li><li>・リアス海岸の臨海部という平坦な土地が少ないことで居住地域も限られる宮古市では賃貸の価格が高額であることが問題の1つであると考えます。この問題により、特に若者には金銭的理由から転入を諦める可能性があります。コンパクトシティを目指したとき、この問題はどうか対処していきますか?</li><li>・市内に大型ショッピングモールを導入することだけは避けてほしいと考えます。よろしくお願いいたします。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・宮古市のまち環境は非常に景観が悪いし清潔感が無いと思う。公園や道路周辺の雑草や河川（特に近内川の雑木）は見苦しい限りです。地域での清掃活動も実施しているところもありますが人力ではとても手を付けられぬ状況もあり景勝地浄土ヶ浜をうりにするならもっと積極的に景観づくりを意識してほしい。全国各地の観光地で世界遺産は当然ですがそうでないちっぽけな街でも心を打たれまた訪れたいと思うところはたくさんありますね。</li><li>・人口流出の大きな要因は、低所得と雇用環境にあると考えます。法人格を持つ地元企業は殆どが同族での事業体制で税金対策と自らの利益を優先した姿が目につき個人事業者より雇用（従業員）への配慮は著しく低下していると思います。外部からの企業誘致も大切ですが、地元企業の経営者のリハビリが必要だと思えます。努力もせず国・県・市等の補助金ばかり優遇されるのは正しいとは思いません。</li><li>・前述に関連し、多くの事業者や生活者が借地での営業と生活をしております。税金との関連は大きいと思いますが、昨今の物価上昇下にあって所得水準に見合わぬ土地の時価評価額は見直す必要があるのではないかと思います。これにより適正な借地料負担が見込めると思う。</li><li>・生活保護者、母子家庭の是正が必要です。手当を受給するために計画的に取り組んでいる（計画的に行った）方々が多数いるように思います。実際に要件を満たし受給した人物から話を聞いたこともあり呆れるばかりです。受給者の生活様式は調査もしているとは思いますが、事前に調査日を知らせて行うとか明らかに事務処理の効率化というようなことは行うべきではないと思います。この地で頑張っているのに税金が不正に利用されているようで残念でなりません。</li></ul>
歩道がガタガタでベビーカーで通るのが難しい場所が多々ある。直して欲しい。
子供と出掛けて行くポイント。科学館やモール長い時間を一ヶ所で完結できる場所にある。観光という自然中心には幅が狭いためハード面が必要では

上記以外で今回のパネル展の内容についてのご意見・ご感想（原文のまま引用）

難しい内容のパネルなのに、良くまとまっていて感心しました。現段階での施策の事前評価は難しいですが、効率性・有効性・経済性の三つの視点を忘れずに見守っていきたいと思います。（パネルには、評価にかなうような経済的な説明がないような気がします。）今後は、これまで以上に行政としての透明性を高めていく取り組みが大切になりますね。

釣りや海・川・山など、宮古の自然に魅力を感じて市外から訪れる人がいるので、こういった宮古市独自の魅力や打ち出した観光の施策を展開してほしい。

キャトルの跡地早く何とかして下さい。

キャトル跡地について、医大のように、宮古病院の外来を入れてサテライト的な扱いで行きやすくすべきでないか。入院は崎山、外来は駅前にすれば経済効果も見込めるのでは。

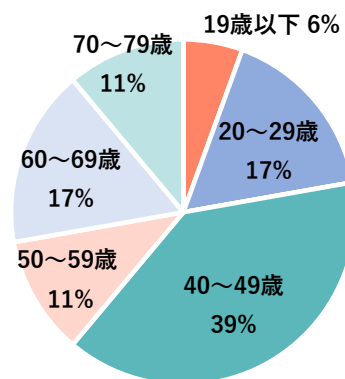
## (2) 回答者の属性について

### 1. あなたの年齢を教えてください。

○回答者の年齢は、「40～49歳」が最も多く約4割となっている。

《集計》

No	項目	回答数	構成比
1	19歳以下	1	6%
2	20～29歳	3	17%
3	30～39歳	0	0%
4	40～49歳	7	39%
5	50～59歳	2	11%
6	60～69歳	3	17%
7	70～79歳	2	11%
8	80歳以上	0	0%
	未回答・無効回答	0	0%
	有効回答	18	100%
	計	18	100%

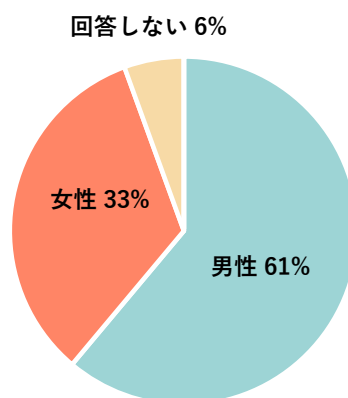


### 2. あなたの性別を教えてください。

○回答者の性別は、「男性」が約6割、「女性」が約3割となっており、男性の回答者が3割多い。

《集計》

No	項目	回答数	構成比
1	男性	11	61%
2	女性	6	33%
3	回答しない	1	6%
4	その他	0	0%
	未回答・無効回答	0	0%
	有効回答	18	100%
	計	18	100%

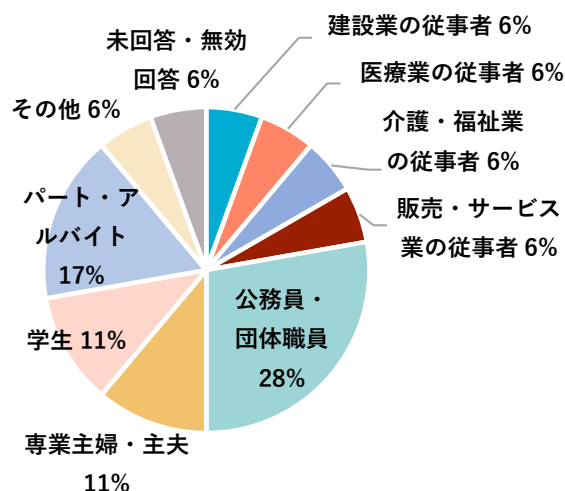


### 3. あなたの職業を教えてください。

○回答者の職業は、「公務員・団体職員」が最も多く約3割、次いで「パート・アルバイト」が約2割となっている。

《集計》

No	項目	回答数	構成比
1	農業の従事者	0	0%
2	林業の従事者	0	0%
3	漁業の従事者	0	0%
4	製造業の従事者	0	0%
5	建設業の従事者	1	6%
6	医療業の従事者	1	6%
7	介護・福祉業の従事者	1	6%
8	販売・サービス業の従事者	1	6%
9	公務員・団体職員	5	28%
10	専業主婦・主夫	2	11%
11	学生	2	11%
12	パート・アルバイト	3	17%
13	無職	0	0%
14	その他	1	6%
	未回答・無効回答	1	6%
	有効回答	17	94%
	計	18	100%



### 4. あなたの世帯構成を教えてください。

○回答者の世帯構成は、「子どもと同居（高校生以下の子どもがいる）」が最も多く約3割、次いで、「単身」と「親と同居」が約2割となっている。

《集計》

No	項目	回答数	構成比
1	単身	4	22%
2	夫婦のみ	1	6%
3	子どもと同居（高校生以下の子どもがいる）	5	28%
4	子どもと同居（上記以外）	1	6%
5	親と同居	3	17%
6	三世代以上の世帯	2	11%
7	その他	1	6%
	未回答・無効回答	1	6%
	有効回答	17	94%
	計	18	100%

